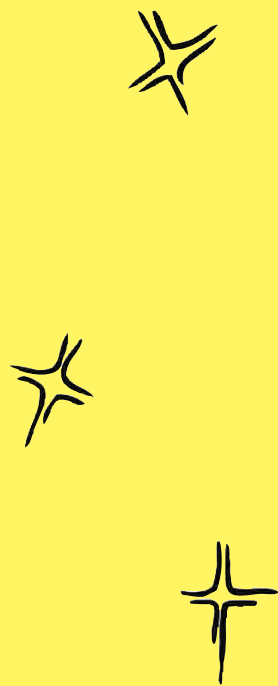
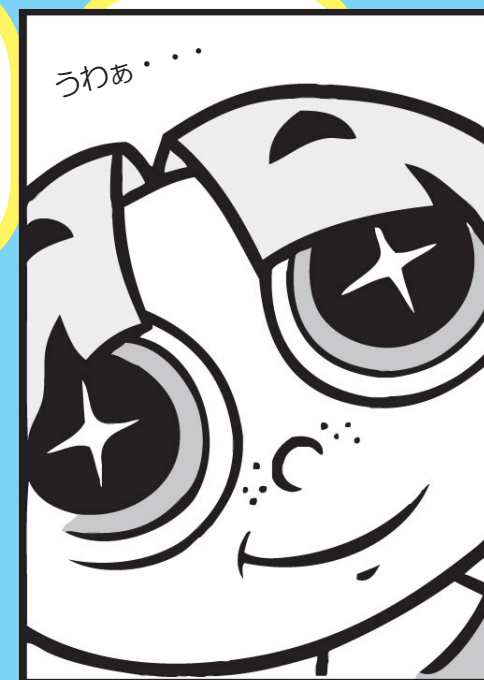


た ひと おも
他の 人たちの 思いを、
ひかり さま む
光である イエス様に 向ける





いつも ^{かんたん}かんたん ^{いうわけ}というわけでは
ないけれど、
^{てんごく}天国の ^み見方を ^{かた}示してあげるっていう
ことなんだ。



ぼくは ^{あいけん}まず、愛犬の
^{はじ}バジーから 始めた。



それから、お姉ちゃんねえの
ごきげんがわる悪くて・・・



むしゃ
くしゃ!

・・・気落ちきおしてる
様子ようすだった時とき・・・



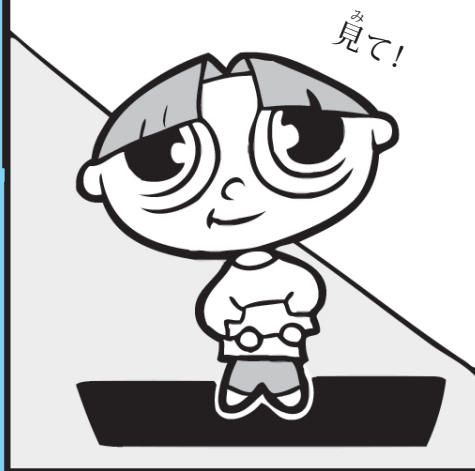
ぼくは おも思った。お姉ちゃんねえが



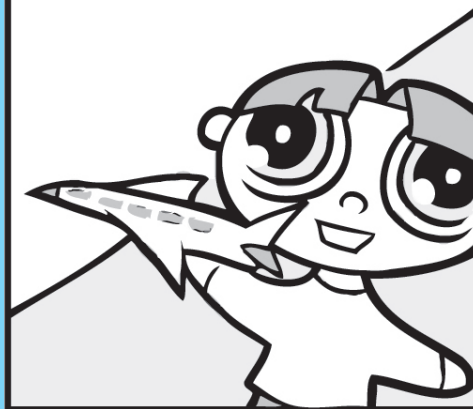
かんが考えられるように てつたお手伝いしなくっちゃ!

たの楽しい ことも あるって ことにね。

「ねえ、お姉ちゃんねえ。これは
ぼくのお気に入りのきい車くるまなんだ。」

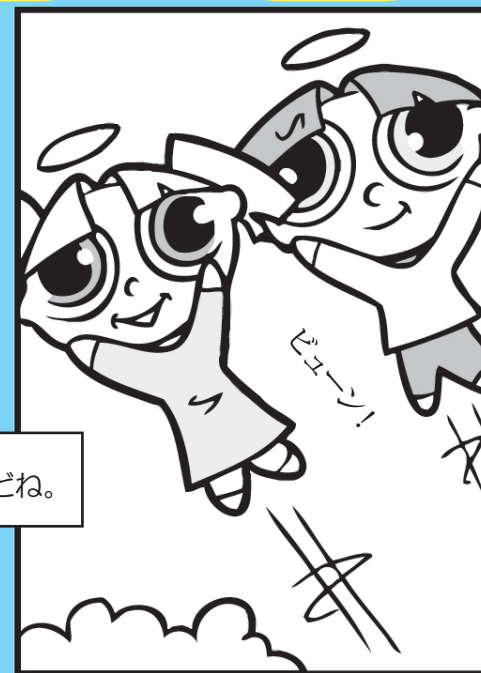


そして、こっちは ぼくの
いちばん はや速い きジェット機。



ぼくたちも、こんなに はや速く そら空を
と飛べるように なると思おもう?

てんごく天国に つ着いたらだけだね。



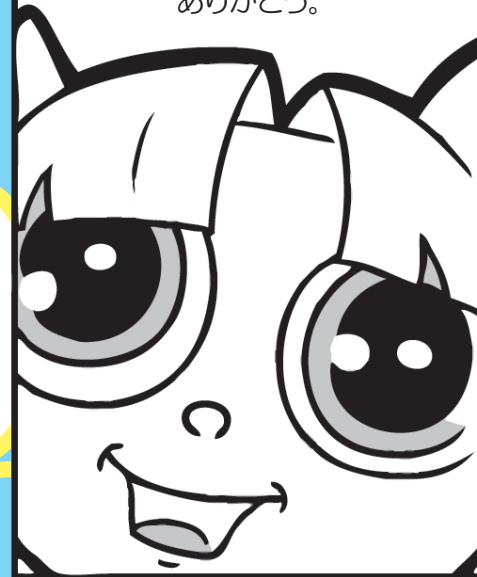
さいしょ ^{ねえ}お姉ちゃんは、
いったい ^{なん}何の ことだか
わからないって ^{かお}顔を した。



ぼくが ^だ出しぬけに そんな ことを
^い言ったからね。

それから ^{ねえ}お姉ちゃんは ^い言った。

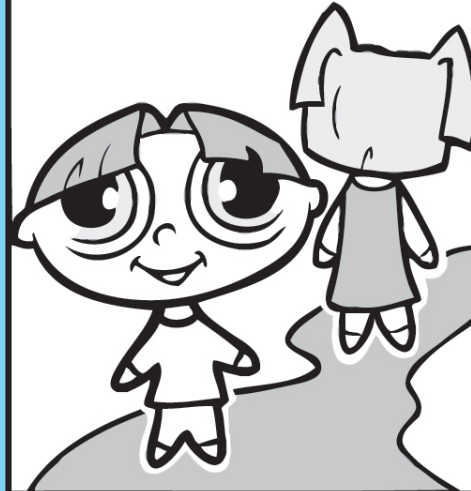
^{たの}「楽しい ことを ^{かんが}考えさせてくれて、
ありがとう。」



おかげで、^{げん き}元気が
わいてきたわ!」



^{ねえ}お姉ちゃんは ^{へ や}部屋を
で ^い出て行った。ようし、^{こん ど}今度は…



^{とも}友だちの スタンにも、これを
^{ため}試してみると しよう。



スタン

スタン ^{がっこうがえ}は 学校帰りに
^{うち}家に ^よ寄った。

^{かれ}彼の ^め目からは、なみだが
^{あと}後から ^{あと}後へと こぼれるばかり。

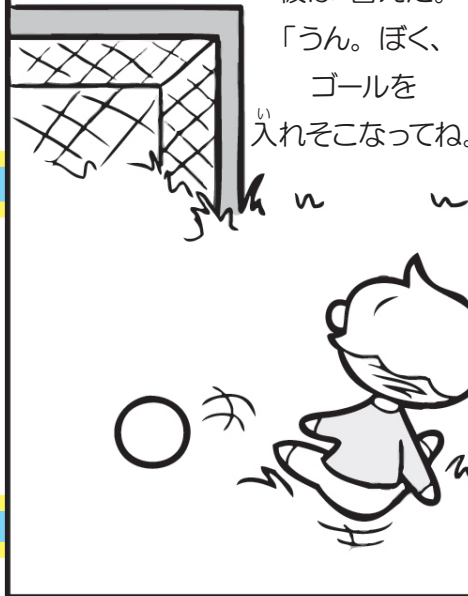


ぼくは ^き聞いた。^{いっだい}「一体
どうしたの、スタン？」



^{がっこう}学校で いやな ことでも
あったの？」

^{かれ}彼は ^{こた}答えた。
「うん。ぼく、
ゴールを
^い入れそこなってね。」



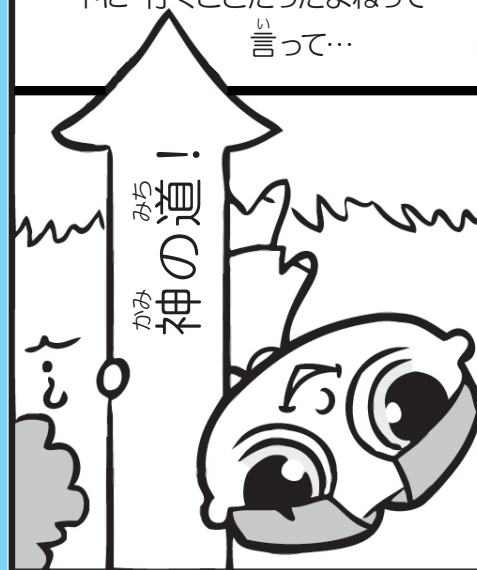
チームの みんなに、バカって
^い言われたんだ。」



^{げんき}元気づけて あげなくちゃ。

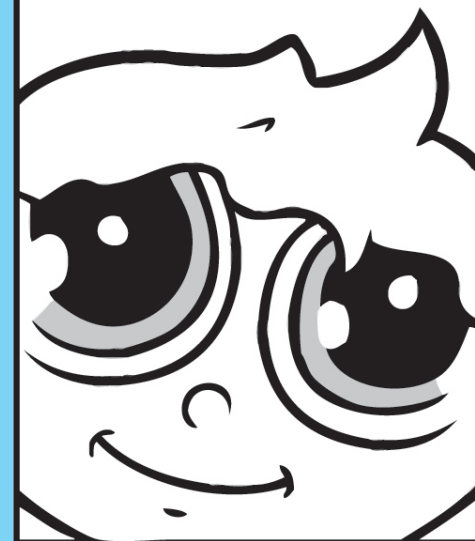


そう言えば、神の ^{かみ}上への ^{うへ}道は ^{みち}
^{した}下に 行くことだったよねって
^い言って…



…ハグして ^{げんき}元気づけてあげると…

^な泣き顔が ^が笑顔に
^えなったんだ。





イエス様は、ぼくたちに こう 教えてくださっているよ。
「わたしは 世の光である。わたしに 従って来る 者は、
やみの うちを 歩くことが なく、命の 光を もつであろう。」
(口語訳聖書、ヨハネによる 福音書 8:12)